



## 人材活用・活性診断 Q&A マニュアル

<p>Q1 どういった人材を雇ったらいいのか？診断結果から具体的に教えてくれるのか？</p>	<p>A1 人材活用活性化診断では、採用における重要な判断材料をご提供することはできませんが、実際にどういった人材を雇うかどうかは、最終的にお客様のご判断になります。</p> <p>人材活用活性化診断の中でも適性能力診断では、その人の性格や意欲、社会性、価値観といった側面から個人の内面を数値化・分析します。「どのような人材が職種に向いているのか？」「どんな人材が不足しているのか」は「既存社員の分析」および「組織の現状」を把握できてはじめて、分かるものです。私どもの提供する「適性能力診断」「人材活性化実態診断」を受け、データベースを構築していくことで、採用基準を定量化することができ、今まで感覚的だった採用において、一定の質が確保できるようになります。</p>
<p>Q2 アンケートに答えるだけで、組織を本当に活性化することができるのか？</p>	<p>A2 「活性化できる」のではありません。データを抽出・分析することで現状の問題点を把握し、「活性化するための要素」が見えてきます。</p>



<p>Q 3 面接でどんな質問をすればいいのか分からない。</p>	<p>A 3 就職氷河期の現代においては、面接マニュアル等も多々発行されています。ですから、月並みの質問では大抵の場合はすでに返答もマニュアル化されており、面接受験者の内面的なものまで面接で把握することは困難です。</p> <p>「能力適性診断」では、個人の能力や適性を公平・客観的に分析することで、通常の面接だけではわからない人材の内面を浮彫りにします。</p> <p>また、そのデータから面接時の質問のポイントを出力しますので、効果的な質問と分析が可能となります。</p>
<p>Q 4 新入社員や既存社員に対する教育にも活かせることができるのか？</p>	<p>A 4 もちろん活かします。人材活用活性化診断のなかでも360度評価では、身近な上司や同僚・部下からの客観的な評価を元に問題点を探り、本人に強い気づきを与えると共に大きな自己変革の機会を与えます。</p> <p>また、評価を元に問題改善に向けた研修カリキュラムもご提供できます。</p>
<p>Q 5 受け取ったデータの内容がよく分からない。どうやってデータをみるのか？</p>	<p>A 5 データ内容につきましては専担者が責任を持ってご説明いたします。また、希望があれば、直接ご説明いたしますし（有料）。ご提供するプログラムの内容によっては、プレゼンテーションがあらかじめ含まれていますので、幹部の前でご説明することもできますし、その場を社員の「気づき」を与える機会として、ご活用していただきます。</p>



Q 6 コストはどの位かかるものか？また、診断結果を得るのにどの位の期間がかかるものか？

A 6 目的・内容・規模に応じて最適な予算プランをご提案させていただきます。例えば、20人規模の複数の部署をもつ「人材活性化実態診断」および「適正能力診断」では、約20万円。適性能力診断のみはお一人様3,000円、税務契約を結んでいる顧問先については2,000円になります。

診断結果につきましては、能力適性診断の結果だけでしたら約1週間。(特急料金で翌日)。組織の現状把握を含めた、既存社員の能力適性診断の場合、課題の抽出・原因の把握～報告書作成までに約1ヶ月程お時間をいただいております。

2004/4/8